

今週は全国学力・学習状況調査です！調査の目的は

先週、1年生は中学校で初めてのテストでした。みんな真剣に取り組んでいました。緊張気味ではありませんでしたが、結果が楽しみです。今週は3年生の全国学力・学習状況調査があります。今回は英語の話す、内容が新たに加わりました。準備に向けて、教頭先生を始め、齋藤先生、英語科の先生、そして丑田さんには大変なご苦労をかけました。ありがとうございました。

英語の「話すこと」調査は大学入試で従来の「聞く」「読む」「書く」に加え、「話す」技能の評価が、2020年度から本格的に導入される見込みであり、中学校においても4技能の総合的な力を育成する授業改善が一層求められていることが背景にあります。

改めて確認する必要は無いとは思いますが、そもそも調査は何のためにするのでしょうか。

【全国学力・学習状況調査の目的】

○義務教育の機会均等等とその水準の維持向上の観点から全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析。



義務教育の目的が全国で果たされているか？地域での格差が無いのか？

○教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。



国、県、市の教育施策うまくいっているか？教師の指導方法の改善ができていますか？

○さらに、そのような取組を通して教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。



一喜一憂するのではなく生徒の成長を追うような継続的な改善を行っているか

教師の立場では、生徒一人一人の状況を分析し、自分の授業を振り返りながら、授業改善をするため。また、全国学力調査や高校入試問題等から学習指導要領において、今、求められる力は何なのかを知り、そのような力をつける方策を考える。(小テストや単元末テストの実施、定期考査での出題など)

生徒の立場では、自分の学力について分析し、今後の学校生活や家庭学習の在り方を考える。そして、中学時代はもとより、社会に出てからも学び続ける姿勢を身につける。(プランニング力)

少子化、グローバル化、さらには人工知能、ロボットなど、時代は速いスピードで変化しています。改めて、何のための学力調査かを考えながら生徒と接し、話していきましょう。

□保護者への啓発

4月27日(土)PTA総会で私から学力向上にかかわり本校の取組を説明します。

視点は、○求められる学力の今天的背景 ○これから求められる学力を育成するための授業改善の視点 ○学校としての取組の方向性 ○生徒の成績実態 ○公立高校入試問題の変化○家庭にお願いしたいこと

□高倉明洋先生(学力向上コーディネーター)を中心に学力向上プラン、学力向上ロードマップが作成されます。職員で取組指標や成果指標はもちろん、生徒の課題、取り組んでいく内容を共通理解しながら、力を合わせて浮羽中の学力向上の取組を前に進めていきましょう。

